日本語による LIPA の情報

LIPA は日本の人々からの願書を喜んで受け付けております。

LIPA で学ぶ 3 分の 1 の学生が英国以外からの学生です。
世界中から集まった生徒はパフォーマンス、デザイン、テクノロジー、マネージメントを学び、訓練することで長い付き合いをお互いに結んでいます。
それがこの学校を活気よく勉強する場所にしています。

これらの LIPA の日本語ページは、LIPA が提供するプログラム
についての概要と願書提出・審査方法、そして LIPA の背景について簡単に説明したものです。
プログラムの詳細や時間割例などについては www.lipa.ac.uk をご覧ください。

全ての詳細情報は英語で提供されています。願書の提出、および LIPA への連絡は英語でお願いします。

The Liverpool Institute For Performing Arts (LIPA)について

LIPA は、芸術・芸能のアーティスト、またその分野で活躍する人
のための大学に匹敵する専門高等教育機関です。

1996 年の開校以来 LIPA は、質の高い教育、学生の卒業後の活躍、そして芸術界や芸能界の現場を正確に反映させながら、異なる分野から集まる学生がお互いに共に学ぶという舞台芸術トレーニングの革新的な手法で、世界的に知られるようになりました。
LIPA は、学生に教室で学んだことを、指導教官の指導を仰ぎながら、あるいは仲間の学生と協力し合いながら実践の場で実行することで能力を高めるよう指導しています。
また LIPA は、自分の失敗から学んで、新たなものを創造し、そして革新を行っていけるよう学生の後押しを行っています。

リバプールはロンドンの北西 180 マイル（約 290 キロ）に位置する人口 45 万人の賑やかな港町です。リバプールは、古くから優れた舞台芸術の役者や音楽家を排出する町として知られており、2008 年の欧州文化首都（European Capital of Culture）にも選ばれました。元ビートルズのポール・マッカートニー卿は LIPA の主要後援者です。
LIPA は町の中心部のはずれにある 19 世紀初期の建物を美しく修復したポール・マッカートニー卿が学んだセカンダリースクール（中・高等学校）跡にあります。

LIPAの創設には4000万ドル以上の投資が行われました。
学生達は他の教育機関では類をみない、質の高いデザインスタジオ、レコーディングスタジオ、ダンススタジオ、音楽リハーサルルーム、演技スタジオ、そして舞台装置や衣装部門の利用が可能です。6つある学生専用レコーディングスタジオは週7日、1日24時間使用可能です。その他の設備・施設は、月曜日から金曜日の午前8:30から午後9:30まで使用できます。また、一般の観客が鑑賞できる発表会用の会場が4ヶ所あり、毎年120以上の学生の発表会が開催されます。ミュージカル劇から、現代ドラマ、現代舞踏、様々な分野の音楽、あるいは、デザイン展示やコミュニティードラマにおけるアートイベントに至るまで、様々な発表会が開催されます。

LIPA の卒業生が、最もよく売れているアーチスト、あるいは様々な賞を受賞した俳優として大きく報道されることがしばしばありますが、大多数の学生は音楽家や俳優・役者ではありません。多くの卒業生が、エンジニア、プロデューサー、技術者、マネージャーやデザイナーとして成功を収めています。

履修プログラム

LIPA は、以下のプログラムを提供しています。

One Year Foundation Diplomas（ファンデーション ディプロマ・1 年間）

Foundation Diploma in Performing Arts (Acting) – 芸能ディプロマ（演技）

Foundation Diploma in Performing Arts (Dance) – 芸能ディプロマ（ダンス）

Foundation in Performing Arts (Singing) – 芸能ディプロマ（歌唱）

Foundation Diploma in Popular Music & Sound Technology – ポピュラー音楽・音響技術ディプロマ

Three Year Undergraduate Degrees（学士 3 年コース）

BA (Honours) Acting (Performing Arts) – 芸能演技学士

BA (Honours) Community Drama – コミュニティー・ドラマ学士

BA (Honours) Dance (Performing Arts) – 芸能ダンス学士

BA (Honours) Music, Theatre & Entertainment Management –
音楽、演劇、エンターテインメント・マネージメント学士

BA (Honours) Music – 音楽学士

BA (Honours) Music (Performing Arts) – 芸能音楽学士

BA (Honours) Sound Technology – 音響技術(サウンドエンジニア)学士

BA (Honours) Theatre & Performance Design –
演劇・パフォーマンスデザイン学士

BA (Honours) Theatre & Performance Technology –
演劇・パフォーマンステクノロジー学士

LIPA で学ぶ世界各国から集まる学生

LIPA には世界各国からの学生が集まり、LIPA の学術的側面、文化的側面、そして社会生活に多大の貢献をしています。LIPA の職員一同、この事実に高い価値を見出しています。

学生 800 名の 3 分の 1、そして指導教官の一部は英国以外の出身です。40 の異なる国籍の学生が、LIPA プログラムの全般にわたって在籍しています。

LIPA は、真のコミュニティー精神が溢れる
場に世界各国の学生を受け入れていることに誇りにしています
。皆さんもきっと、すぐに英国やその他の国からの学生と友達になることができるでしょう。ここで培った友情は、卒業後プロとして生活する上においても継続し、卒業生たちが様々な催しやプロジェクトにおいてお互いに雇ったり、雇われたりするという話をよく耳にします。

異国での勉強を決意するということは、大きな不安があるということを私たちは理解しています。皆さんにとって必要な情報やサポートを提供いたします。

LIPA のプログラム
や願書提出・審査方法についてご質問がある場合、LIPA への訪問を希望される場合、あるいは学校案内や願書をご希望の場合は、**international@lipa.ac.uk** までご連絡下さい。

願書提出方法

願書提出やカリキュラムの選択に関して、日本語でアドバイスを希望する場合、LIPA 日本代表部へお気軽にご連絡ください。

LIPA への願書を提出された後、UCAS フォームを提出していただく必要がございます。UCAS フォームは、英国の高等教育機関への入学を希望する人全員に提出が義務付けられています。詳細については、www.ucas.com/studyuk/ をご覧ください。

音楽関連のカリキュラムにお申し込みの場合は、歌唱もしくは楽器演奏のデモテープを提出していただきます。同デモテープは 15 分以内で、LIPA の願書と一緒にご提出ください。

日本からの受講生には願書の提出期限はございませんが、各プログラムとも希望者が多いため、可能な限り早めに願書を提出されることをお勧めいたします。

ご提出頂いた願書の審査終了後、オーディション（演技、舞踏、音楽の各プログラムの場合）、あるいは面接（その他のカリキュラム）を実施するか否かの決定がなされます。オーディションと面接に関するガイドランについては、www.lipa.ac.uk をご覧下さい。
入学は毎年 9 月で、オーディションと面接はリバプールにて、その前年の 12 月から入学年の 4 月にかけて行われます。また、日本でもオーディションを行っています。 詳細については、www.lipa.ac.uk/international の Recruitment Events ページを参照してください。

日本もしくはリバプールでもオーディションに参加できない場合は、郵送によるオーディション/ポートフォリオの提出に関するガイドラインをお送りします。

LIPA で学ぶ大多数の学生は、入学時年齢が 18 歳以上です。18 歳未満の学生の入学も可能ですが、LIPA 入学前に高等学校卒業資格を有している必要があります。

LIPA では、英国外で取得した学歴を英国内の同等の資格と比較し認めますので、英国で学歴を取得していないという理由で願書の提出をあきらめることはありません。そして、オーディションや面接での成績が、学歴と同様に重要なポイントになりますので、その点もご留意してください。

入学希望者は IELTS 5.0 以上の英語力を有している必要があります。しかし、入学前に英語の集中講座を受講するという条件で各国からの学生を受け入れる場合もあります。従って、英語力が足りないという理由で、願書の提出を断念する必要はありません。